

本号の主な内容

2面【学会の目・眼・芽】街路樹の管理育成のこれから
〔※〕日本造園学会理事、兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 赤澤 宏樹
社の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く 第40回全国都市緑化仙台フェアのご紹介
〔※〕日本造園建設業協会 宮城県支部長 古積 昇

3面【実施報告】地域リーダーズ勉強会（会場：広島県広島市）
災害逃れた名園と緑の復興を学び、交流 中国総支部 地域リーダーズ 小立 亮
日造協 フロアード2022概要を説明 自民党2027横浜国際園芸博覧会（花博）推進特設委員会

4面【ふるさと自慢】豊かな自然と新・古・アメリカが混在する沖縄本島西海岸の嘉手納町
沖縄県支部 泰山美奈子（㈱前川グリーン土木）

【緑 滴】私を虜にする〇〇
愛媛県支部 水本 綾香（協和環境整備工業㈱）

植栽基盤診断士認定試験 合格者発表 有資格者1,700名超え 全国各地で活躍中

植物が良好に育つ土壌環境を整える専門家「植栽基盤診断士」の資格制度は、日造協が2003年に創設し2022年で20年目となる。

今年度の認定試験は、「学科試験」を9月18日(日)に全国5会場で実施し、学科試験に合格した方が次に挑む「実地試験」を11月10日(木)～12日(土)に東京会場、11月17日(木)に大阪会場、11月18日(金)に愛知会場、11月25日(金)に福岡会場で実施した。

認定試験（実地試験）の可否を「植栽基盤診断士認定委員会（委員長：高橋輝昌 千葉大学准教授）」で厳正に審査し、

結果は下表の通りとなった。実技試験の合格者は、登録認定手続きをすることにより「植栽基盤診断士」と称することができる。資格を創設した2003年からの資格者の累計は1,731名となった。

さまざまな地域での発注要件にも取り入れられるなど活用が拡がりつつあり、既存植栽地の土壌の育成管理や、植栽予定地の現況調査と診断に基づき発注者等へ明確なデータを示しながら改良提案と具体的な処方的施工性・経済性を考慮して技術提案していくなどの活躍が期待される。

合格者一覧 新たな診断士68名

【宮城県】中林優季（西武造園(株)東北営業所）
【茨城県】渡邉大樹（茨城県県南造園土木協同組合）、佐藤孝行（(株)水庭農園）
【群馬県】澤田佑馬・杉村泰（(株)山梅）
【埼玉県】服部秀明・伊藤香凜（(株)前島植物園）、池田利行（(株)虹設計事務所）、金城真司・柳野遼介（西武造園(株)関東東営業所）、山田三杉（(株)緑商）
【千葉県】金坂雅登（(株)生光園）、佐藤潤一（藤木園緑化土木(株)）、芳林正揮（(株)緑建）、鈴木英之（(株)加藤緑化建設）、伊藤英徳（(株)横芝緑化）
【東京都】平野篤志（日産緑化(株)名古屋支店）、奥田あゆみ（(株)石勝エクステリア 関西支店）、菊池大輔（(株)西部緑化）、佐々木愛・村越匠（第一園芸(株)）、吉田祐貴・大杉祥広（イビデングリーンテック(株)）、加藤葵（松村園芸(株)）、石川綾子（(株)ランデック）、坂牧優樹（(株)武蔵野種苗園）、阿部友美（日産緑化(株)）、佐藤健人（(株)根本造園）、吉野想（かたばみ興業(株)）、細井浩（武蔵野造園土木(株)）、正木宏明（(株)野沢園）、先崎洋二（(株)仙坐木）、高島慧（緑京(株)）、森岡聡史・倉田英行・土田遼太（(株)森岡）、渡部俊介（(株)柳島寿々喜園）、橋本智

美（(株)エコル）、高橋英徳（庭絆）、中本智士（(株)グリーン・ワイズ）
【神奈川県】青柳亨・園部伸樹（(株)石勝エクステリア）、泉直輝（櫻井造園土木(株)）
【山梨県】神宮司拓（(株)富士グリーンテック）
【新潟県】斎藤主佑（グリーン産業(株)東京支店）
【石川県】金井修（壁屋建設(株)）
【静岡県】町田哲洋（(株)特種東海フォレスト）
【愛知県】堀内綾子・田口優・足立健一郎（大島造園土木(株)）、菊地太郎・加藤太志（(株)鈴鍵）、駒井圭太（(株)豊橋園芸ガーデン知多事業所）、加藤善久（(株)加藤造園）、中村友美（岩間造園(株)）、青木龍司（(株)ガーデン知多）
【滋賀県】伊関靖幸（(株)高木造園）
【京都府】田中満穂（石豊造園土木(株)）、有川実（(株)鈴木庭園）
【兵庫県】辻本誠（阪神園芸(株)）
【奈良県】窪田彩音（近鉄造園土木(株)）
【香川県】末澤宏行・矢野潔（末澤緑地(株)）
【愛媛県】内山善博（成瀬緑化産業(株)）
【福岡県】廣田豊（四季苑）、榎康道（九州林産(株)北九州営業所）、溝手克弥（内山緑地建設(株)北九州支店）
【佐賀県】森健太（(株)かわさき造園土木）

建設キャリアアップシステム（CCUS） 登録と活用のご案内

建設キャリアアップシステム（CCUS）は、技能者ひとり一人の就業実績や資格を登録し、技能者の公正な評価、工事の品質向上、現場作業の効率化などにつながるシステムです。

登録した技能者は、CCUSカードが交付され、いつ、どの現場に、どの立場で働いたのか、就業履歴データが記録されます。同時に、どのような資格を取得し、あるいは講習を受けたかといった技能、研さんについても記録されます。

国土交通省では、2023年度からの直轄・自治体・民間のすべての工事での建設キャリアアップシステムを原則活用することを目標に掲げています。

2022年10月末時点での技能者登録数は、100万名を超えました。登録した技能者は、「就業日数」「保有資格」「職

長等経験」による能力評価（レベル判定）を行うことで、レベル2～4と判定されます。

建設キャリアアップシステムに記録される情報や技能者の能力評価を活用し、専門工事企業の施工能力等の「見える化」も実施しており、すでにいくつかの職種の評価結果が国土交通省のホームページで公表されています。

能力の高い技能者を雇う事業者にとっては、受注機会の拡大が期待されるため、お早めにCCUSへの事業者登録・技能者登録をご検討ください。

詳細についてはCCUSのHP（<https://www.ccus.jp/>）でご確認ください。



樹林 日造協の胎動から、地球環境の今を語る

58年前の1965年（昭和40）4月、日本造園緑地組合連合会が誕生しました。それまで零細な業者の集団であった造園業界と植木生産業界の地位向上のため、一つになった組織でした。

その第1回全国大会は、福岡県久留米市で開催され、建設省（現・国交省）はじめ官・学・産の代表1400人が会場を埋め尽くしました。

大会実行委員長は挨拶の中で「・・・今日、日本の現状におきましては、自然環境・都市環境ともに次第に損なわれて、尊い命が脅かされている状態があります。・・・」と述べ、既に地球環境を危惧していたことが記録に残されています。

それから6年後の1971年（昭和46）連合会は、造園技術の向上と都市環境整備保全と都市緑化推進を掲げ社団法人の認可を受け、日本造園建設業協会として発展的改称をしました。

当時の日本の環境は、戦後の高度成長の陰で「四大公害病」に代表される産業型公害が各地で発生しました。

東京の風景は「煙を吐き続ける煙突、どんよりとした灰色の空、隅田川は墨汁を流したように真っ黒で悪臭を放っていた」と弊社OBから聞いたことがあります。

大気や水の汚染は、地域内の環境対策にとどまらず次第に国境を越えて拡大し、地球環境問題を巻き起こすようになりました。

国連でも1970年代に入り環境問題が大きなテーマとなり、1979年に歴史上はじめての越境大気汚染に関する国際条約が欧州経済委員会において締結されました。

労働災害防止強調月間のお知らせ 令和5年（2023年）3月1日～31日

建設業年度末労働災害防止強調月間は、完工時期を迎える工事が増加し、さまざまな作業が輻輳するこの年度末に注意を促し、無事故・無災害で新年度を迎えていただくことを目的に、建設業労働災害防止協会の主唱、厚生労働省、国土交通省の後援で毎年行われ、関係企業への周知が図られています。

技術者や技能労働者の不足や高齢化、作業者の多様化など、労働災害防止に向けた多くの課題がある中、近年、激甚化・頻発化する豪雨などの自然災害からの復旧・復興工事を始め、国民生活を守る防災・減災対策及びインフラ整備工事等が進められています。

建設業年度末労働災害防止強調月間の詳細については、「令和4年度建設

1980年代からは、フロンによるオゾン層破壊の問題が表面化し、地球温暖化問題が徐々に認識され、1985年には地球温暖化に関する初めての世界会議開催をきっかけに、二酸化炭素による地球温暖化問題が大きく取り上げられるようになりました。

1988年に気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が設立され、温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の科学的、技術的、社会的、経済的な評価を行うようになりました。

1992年に気候変動枠組条約（UNFCCC）が、国連総会で採択されCOP1が開催されました。

1997年のCOP3で「京都議定書」が採択され、国ごとに個別に温室効果ガス削減目標を課すことが決まりました。2015年のCOP21では新たな法的枠組となる「パリ協定」が採択され、それを踏まえ、2016年から日本は新たに策定された温暖化計画等に示された、都市緑化等を含む吸収源対策に係る取組を決定し、2030年度削減目標の達成に向かって着実に取り組んでいるところです。

国交省はその対策の一部である「都市公園」「道路緑地」「港湾緑地」他5区分の植生回復活動による吸収量を算定し、毎年環境省が取りまとめてUNFCCC事務局に提出しています。

国土における都市域の面積の割合が3割近くにも達しているわが国では、現状の緑を確実に保全するとともに、過去に緑が失われた都市域において、吸収源対策の施策の一つとして「都市緑化等の推進（植生回復）」が位置付けられています。

業年度末労働災害防止強化月実施要領」が建設業労働災害防止協会のホームページからダウンロードできます。

右上のQRコードからホームページにアクセスできます。

年度末の完工時期に当たり、労働災害要因の予知、未然撲滅に尽力しましょう。



（一社）日本造園建設業協会理事
内山緑地建設(株) 代表取締役 内山 剛敏

杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く

第40回全国都市緑化仙台フェアのご紹介

(一社)日本造園建設業協会
宮城県支部長 古積 昇

全国都市緑化フェアは、「緑ゆたかなまちづくり」をテーマに、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及を図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年(1983年)年度に大阪で開催されて以来、全国各地で開催されている国内最大級の花と緑の祭典です。

仙台市では平成元年度に「'89グリーンフェアせんだい」を開催して以来、34年ぶりの開催となります。

今回の開催テーマは「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」。「未来の杜せんだい2023～Feel green!～」を愛称に、市民が主役となるフェアを目指します。

仙台フェアが開催される令和5年は、杜の都のみどり豊かな都市環境の形成に大きな役割を果たした「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50周年の節目の年となり、次に掲げる開催意義、基本方針のもと、仙台フェアを開催します。

【開催意義】

1.次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」、2.みどりと親しむ生活と新たな交流の創出、3.東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

【基本方針】

1.杜の都のみどりの可能性を発信するフェア、2.杜の都のみどりを体感するフェア、3.次世代の担い手を育むフェア、4.みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア、5.みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア

【基本理念】

百年先の、みどり豊かな杜の都を育むために市民と事業者、そして未来を担う子どもたちとともに、自然との調和ある環境の創造を目指してきたまちづくりを振り返り、これまで培ってきたみどりの大切さや素晴らしさについて学び、気づく機会を創出し、担い手の育成はもとより、次世代へと続く「百年の杜づくり」へとつなげます。

開催期間は、令和5年4月26日(水)から6月18日(日)までの54日間、仙台市内の青葉山メイン会場をはじめ、まちなかエリア会場(定禅寺通り、青葉通り)、東部エリア会場、連携会場(東北大学植物園・七北田公園・仙台市野草園・八木山動物公園)の4つとなります。

■メイン会場 (①青葉山公園追廻地区・②西公園南側・③広瀬川地区)

①仙台フェアの開催にあわせ青葉山公



園センター「仙台緑彩館」がオープン、来訪者に向け「杜の都・仙台の歴史・文化」を発信し、青葉山の自然と広瀬川に囲まれた空間で、様々な企画展を開催します。その他、茶室のある「もりの庭園ゾーン」、屋敷林「居久根(いぐね)」をテーマとした「杜のリビングガーデンゾーン」、仙台七夕の吹流しをイメージした6,700㎡の「大花壇ゾーン」、自治体花壇(16自治体)、個人、企業・学生(高校生)が作庭展示する「人が輝くグリーンライフゾーン」では造園技術を競うコンテストが行われます。

②既存の樹木を活用した「フォレストアドベンチャー」など、遊びながら自然体験ができる「グリーンアクティビティゾーン」

③広瀬川の河川敷を利用しワイルドフラワーの花畑で皆様をお迎えする「水辺のテラスゾーン」

■まちなかエリア会場

ケヤキ並木、光のページェントで有名な定禅寺通りをはじめ、仙台駅前の青葉通りの「まちなかエリア会場」では花と緑で修景を行い、まちづくり団体による各種イベントを実施します。

■東部エリア会場

農業園芸センター、メモリアル交流館(震災遺構:荒浜小学校)、海岸公園、高砂中央公園の4箇所で、花緑の関する講演会、修景・展示イベントをはじめ、震災の記憶の継承、みどりの復興の発信

4/26・6/18
[Wed] [Sun]入場
無料

メイン会場 青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区

まちなかエリア会場 仙台駅ベデストリアンデッキ、定禅寺通り、青葉通り、宮城野通

東部エリア会場 せんだい農業園芸センター みどりの杜、せんだい3.11メモリアル交流館、震災遺構仙台市立荒浜小学校、海岸公園、高砂中央公園(仙台うみの杜水族館)

連携会場 東北大学 学術資源研究公開センター 植物園、七北田公園、仙台市野草園、八木山動物公園 フジサキの杜

や、自然に触れながら家族で楽しめると
思います。

■連携会場

フェア開催にあわせ、東北大学植物園・七北田公園・仙台市野草園・八木山動物公園では、植物園ガイドツアー・市民公開講座の開催、七北田公園、野草園では、近隣小学生と花や緑の活動団体による花壇づくり、花や野草の歴史に関する展示イベント、八木山動物園では、仙台フェア関連イベント、園内におけるSDGs関連の展示を行います。

令和5年4月26日(水)から開催しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては会場内でのイベントの中止等も考えられますが、感染対策をしっかり行いながら皆様をお迎えさせていただきます。

連休明けにはG7仙台科学技術大臣会合(5/12～14)、仙台青葉まつり(5/20・

まちなかエリア会場

けやきの新緑のなかで、
まちを彩る花みどりの風景を
楽しめます。



定禅寺通り(せんだいメディアテーク前)

東部エリア会場

東日本大震災からの復興に
関する展示や、親子で楽しめる
体験プログラムを開催します。

21)、技術フォーラム・総支部・支部長会議(5/31・6/1)が開催予定ですので、視察につきましてご要望・質問等(宿泊・交流会ほか)ございましたら早めにご連絡いただけましたら幸いです。皆様のお越しをお待ちしております。

(連絡先: 宮城県支部事務局)

E-mail:miyagi@jalco.or.jp

直通080-1696-4128 古積昇まで)

学会の目・眼・芽 第131回

街路樹の管理育成のこれから

(公社)日本造園学会理事、兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 赤澤 宏樹

日本造園学会では、研究推進委員会を設置し、研究やその社会実装を進める取り組みを支援しています。今回新たに、街路樹研究推進委員会が設置されます。日造協からも参画いただき、街路樹の管理育成に関する環境的、技術的、社会的、制度的、経済的な課題について、産官学一体となって議論していく所存です。



街路樹は、まちの価値を高めるアーバン・フォレストとして、また近年の気候変動を緩衝するグリーンインフラとして、大きな期待が寄せられています。



一方で、国土の狭い我が国においては、道路構造令などに基づいて厳しい生育環境におかれ、十分に機能を発揮できず、逆に根上がりなどの問題が生じています。「落葉が落ちる前に強剪定してほしい」という市民要望によって計画通りの管理育成もしくく、予算カットや単年度契約のため造園技術も発揮しにくい状況にあります。

戦後の様々な都市整備から月日が経ち、更新時期を迎えた街路樹も多くなった今、これらの複合的な課題を解決しつつ、街路樹の新しい価値を社会に示すことが大切です。



2010年代には、大径木化した街路樹が小さなハナミズキに更新されるなど、管理の省力化を見据えた更新が進んだように感じます。

一方で、間引きによる適切な育成や樹形回復が試みられ、近年では街路樹の維持管理計画が適正化をふまえて策定され、広域の維持管理業務が複数年契約で発注されるなど、管理育成にとって良い動きがみられます。

協働の取り組みも進み、市民参画や民間事業者による街路樹の管理育成の事例も各地で見られるようになりました。

これらの事例を全国で共有し、課題と効果を検証することで、より広く社会に実装させていく必要があります。

最新の動向としては、世界的に導入が進んでいる樹木の分析・便益評価ツールであるi-Treeが、東京都で正式にサポートされ、国内導入の可能性の第一歩を踏み出しました。

街路樹の様々な機能を把握し、価値化することができるため、客観的なデータに基づいてそれらを最大化するEBPM(根拠に基づく政策立案)が期待されます。

また、レーザー測量やVRなど新たな技術の導入も研究されており、我々造園人が持つべき技術も大きく変わるかもしれません。

これらの最新情報も産官学で共有し、業界一体となって社会実装を進めていきたいと考えています。

【実施報告】地域リーダーズ勉強会（会場：広島県広島市）

災害逃れた名園と緑の復興を学び、交流

中国総支部
地域リーダーズ 小立 亮
(島根県支部 株小立造園)

集合写真

新型コロナウイルス感染拡大の影響から延期となっていた地域リーダーズ勉強会は、広島にて令和4年11月21日（月）～22日（火）の2日間、全国から約140名の参加者をお迎えして開催することができました。

全国規模では2019年（平成31年）2月、京都勉強会以来であり、約4年ぶりの開催となりました。

正本副会長、松戸総リーダー挨拶

開会にあたり、地域リーダーズの代表として松戸総リーダー、日造協本部を代表して正本副会長から挨拶をいただきました。

松戸総リーダーからは、「2010年に発足した地域リーダーズが、今回の広島勉強会をもって、全国10総支部全てで開催することができ、各地で勉強会や見学会など、学びながら交流できる体制が整ってきたことに感謝したい」と、また正本副会長からは「今回の講演会のキーワードは“緑”と“復興”であり、さまざまな災害を乗り越えてきた広島の緑についてもまだまだ課題が多く、このような緑の課題解決の場面に、我々造園人が発言する機会を持ち、存在感を出していく“きっかけ”にしていきたい」とそれぞれの想いを述べられました。

講演①大災害を乗り越えた名園 隅川氏

講演会①では、「大災害を乗り越えた奇跡の名園・縮景園」と題して、隅川明宏様（広島県立美術館 主任学芸員、縮景園主査）よりご講演いただきました。1620年、広島藩初代藩主・浅野長晟が築庭した縮景園について、年代ごとに残された貴重な庭園絵図や写真資料をもとに、江戸時代の大火や原爆投下などの災



隅川氏

佐々木氏

害を乗り越えてきた縮景園の改修状況やその変遷を学ぶことができました。また「縮景園は広島県の施設であるが、この土地は広島市の管轄でもあることから、都市計画という点でどのように規制していくのか、文化財優先なのか、周辺住民の生活環境が優先なのか複雑な背景がある」という文化財庭園としての維持・保全の難しさを教えていただきました。

講演②ひろしま緑の復興 佐々木氏

講演会②では、「ひろしま緑の復興～平和を象徴する緑の継承～」と題して、佐々木栄治様（広島市都市整備局 緑化推進部緑政課 花と緑の施策担当課長）よりご講演いただきました。

1945年に被爆した際の貴重な写真資料や図面等で当時の状況や、復興に向けての取り組みの過程を学ぶことができました。

講演の最後には「広島市の緑の復興を支えてきたのは、広島平和記念都市建設法と供木運動であり、多くの方々が平和を願う強い気持ちと、先人たちのたゆまない努力で今の緑豊かな広島市があることを知っていただきたい。そしてこれからも平和都市“広島”を国内外に発信しながら、平和を象徴する緑を未来に向けて継承していきたい」と力強いメッセージをいただきました。



講演の様子



見学会の様子



見学会（おりづるタワーから見た平和記念公園）

対面交流会と講演に合わせた見学会

講演会後の交流会は、西谷中国総支部長の乾杯で開会した後、全国リーダーズが登壇して挨拶するなど、コロナ対策を実施したなかで、久々の対面交流会で懇親を深めることができました。

翌日の見学会は、講演会の内容に合わせて、縮景園、平和大通り、平和記念公園、原爆ドーム、おりづるタワーを見学した後、現地解散して各自帰路につきました。

最後に

コロナウイルスの感染拡大で延期を重ねた地域リーダーズ勉強会ですが、今回は女性活躍推進部会との連携や、キャリ

アアップシステムについての講習会、中国総支部の若手後継者や日造協非会員企業の皆様との情報交換会など新しい取り組みにも挑戦しました。

これにより、中国総支部内でも新会員が増えそうな気配もあり、今後の展開が楽しみなところですよ。

今回の広島開催をステップに、地域リーダーズの更なる発展が、造園業界全体への発展に繋がっていくことを期待しております。

最後になりますが、2022年度地域リーダーズ勉強会（広島）の開催に協力してくださった多くの方々に深く感謝申し上げます。

日造協 フロリアード2022 概要を説明

自民党 2027 横浜国際園芸博覧会（花博）推進特命委員会



「アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）」の概要を説明する和田会長

令和4年12月16日に「自民党2027横浜国際園芸博覧会（花博）推進特命委員会」が自民党本部で開催され、日造協の他、国土交通省、農林水産省、横浜市、（一社）2027年国際園芸博覧会協会が出席しました。日造

協からは、AIPHの日本国代表会員の立場で和田会長が出席し、令和4年4月19日～10月9日までオランダで開催されていた「アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）」の概要について説明を行いました。

ふるさと自慢

沖縄県

豊かな自然と新・古・アメリカが混在する
沖縄本島西海岸の嘉手納町

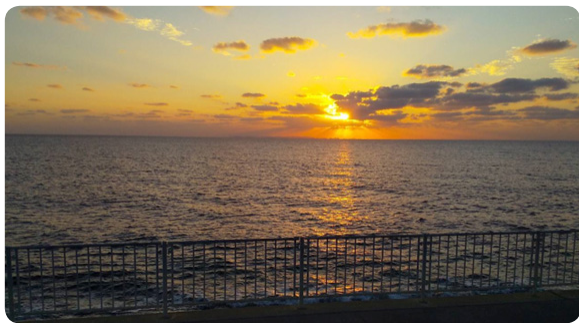
水釜海岸



比謝川カヤック



嘉手納町ゆるキャラ「いもっち」



水釜海岸 (サンセット)



「海が見えるそば屋」



「道の駅かでな」

沖縄といえば、真っ青の海と白い砂浜、首里城や美ら海水族館などの定番スポットを思い浮かべるとありますが、今回は弊社所在地の『嘉手納町』についてご紹介します。

嘉手納町は、那覇から北へ20キロ程の沖縄本島西海岸エリアに位置し、南東部は嘉手納基地で、北谷町と沖縄市に接した国際色豊

かな雰囲気漂う町です。

西海岸でもあるので、絶景のサンセットスポットです。夕日がとても綺麗で、夕方になると多くの家族連れの散歩・ウォーキングコースとなっています。

周辺にはダイビングショップも数多くあり、週末は、シュノーケリング、ダイビングを楽しむ人が集う場所、外国の方も多く外国チックな

雰囲気も感じられます。

また、水釜海岸の防波堤には子供たちが描いたポップアート？が描かれ、中には傑作がいくつもみられるので見て回っても楽しめます。

ひとしきり海岸沿いを散策した後は、「海が見えるそば屋」で食事をするのもおすすめです。窓から絶景の景色を眺めながらの沖縄そばは絶品です。

他にも、嘉手納飛行場が一望できる「道の駅かでな」、比謝川のマングローブ等を観察できるカヤックやSUPなども楽しみ、豊かな自然と、新・古・アメリカが混ざりあった個性のある町です。

沖縄旅行の際には、嘉手納町へメンソーレー！

沖縄県支部 泰山美奈子(南前川グリーン土木)

事務局の動き

【1月】

- 5(木)・新年挨拶廻り(国交省他)・新年造園人の集い(中止)
- 12(木)・資格制度委員会(新規制度等部会)
- 13(金)・地域リーダーズ会議
- 16(月)・登録造園基幹技能者講習テキスト編集委員会
- 19(木)・沖縄総支部・支部との交流会(沖縄県)・茨城県造園団体賀詞交歓会・登録造園基幹技能者講習(北海道)～1/20
- 21(土)・全国造園デザインコンクール予備審査
- 22(日)・全国造園デザインコンクール審査会
- 24(火)・日本大学出前講座
- 25(水)・登録造園基幹技能者講習(東京)～1/26
- 26(木)・関東地方整備局と関東総支部・支部との意見交換会

【2月】

- 1(木)・グリーンインフラ産業展2023(会期中にグリーンインフラ官民連携PF第4回シンポジウム開催)～2/3
- 2(木)・技術委員会(全国)グリーンインフラ産業展見学会含・女性活躍推進部会(経営者小会議)
- 6(月)・財政・運営部会
- 7(火)・広報活動部会
- 8(水)・登録造園基幹技能者講習委員会(試験委員会)
- 9(木)・事業委員会(全国)
- 10(金)・運営会議・第3回街路樹剪定士認定委員会
- 11(土)・全国造園デザインコンクール表彰式
- 14(火)・植栽基盤整備ハンドブック編集委員会
- 15(水)・登録造園基幹技能者講習委員会
- 16(木)・街路樹剪定士指導員研修会&スキルアップ研修会～2/17
- 21(火)・造園技術フォーラム部会
- 22(水)・第4回造園施工管理技術検定委員会
- 24(金)・地域リーダーズ会議
- 27(水)・造園・環境緑化産業振興会SDGsセミナー
- 28(火)・資格制度委員会(全国)
- 2022年アルメーレ国際園芸博覧会第3回屋外出展実行委員会

【3月】

- 2(木)・女性活躍推進部会
- 3(金)・四国総支部・支部との交流会
- 7(火)・広報活動部会
- 8(水)・建設産業人材確保・育成推進協議会 全国担当者会議

- 9(木)・街路樹剪定士認定委員会(試験部会)
- 16(木)・(一財)日本花普及センター第3回理事会・都市緑化機構都市緑化技術編集会議・街路樹剪定士認定委員会
- 17(金)・財政・運営部会・(一財)全国建設研修センター第29回評議員会
- 23(木)・運営会議
- 24(金)・総支部長等会議・第2回通常理事会・役員懇談会
- 28(火)・(公財)建設業適正取引推進機構 第2回評議員会

委員会等の活動

- 女性活躍推進部会
 - 12/5 新潟農業・バイオ専門学校出前講座。酒井部会長が「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、新潟市近郊の名所や花のクイズを交えて講義
- 広報活動部会
 - 12/6 日造協ニュース2～5月号の内容及び令和5年記事構成及び執筆者構成について審議
- 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
 - 12/7 実地試験の採点、次年度の開催計画、植栽基盤整備ハンドブックの改訂について検討
- 街路樹剪定士認定委員会(試験部会)
 - 12/8 10～11月実施分の採点、指導員研修会の実施計画、次年度の試験問題作成について審議
- 植栽基盤診断士認定委員会
 - 12/13 実地試験の可否判定、次年度の開催計画について審議
- 全国造園デザインコンクール等推進部会
 - 12/14 審査会・表彰式、デザコン50周年記念事業について審議
- 街路樹剪定士認定委員会
 - 12/15 10～11月実施分の可否判定、指導員研修会の実施計画、次年度の試験問題作成について審議
- 新規制度等部会
 - 1/12「緑地樹木剪定士」の制度規程について審議
- 登録造園基幹技能者講習テキスト編集委員会
 - 1/16 テキスト改訂について審議
- 女性活躍推進部会
 - 1/24 日本大学生物資源科学部森林資源科学科出前講座。酒井部会長が冊子の「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、藤沢市近郊の名所や花のクイズを交えて造園について講義

【造園用フルハーネスの購入方法】

造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方は URL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申込ください。



編集後記 休日に癒しのハイキングへ。森の香りを胸いっぱい吸い込みながら、ふと、スキの枝の先端を見ると、茶色の花がびっしり付いているではありませんか！いよいよ花粉を飛ばそうと準備万端の様子に、花粉症の私は身震いしました。今年は全国的に花粉の飛散量が多いと予測されています。早めの対策で乗り切りたいと思います。



私を虜にする

皆さんはお休みの日どのように過ごされていますか？

私の休日の過ごし方は大好きな料理をすることです。始めたきっかけは子供の頃、母が料理をしているとなぜか真似をしたくなり、一緒にしているうちに作る楽しさや完成した時の喜びを実感したからだと思います。

母が小さい頃から教えてくれたのおかげで、小中高の調理実習では先生の助手的存在にも抜擢され、クラスメイトのサポートを務めることもしばしばありました。

その頃から“自分のために作る料理”と“相手へ振る舞う料理”は全然違うと身をもって感じるようになりました。

私が考える“自分のために作る料理”は自分の好きな食材・食べたいもの・好みの味で作ることができ、基本なんでもアレンジできるということです。それは今までにない組合せを発見する



ことができ、自分オリジナルの料理が1つ完成することで達成感も得られます。

それに対して“相手へ振る舞う料理”は、食材へのこだわり、食べる人の好みや健康面にも気遣いながら作るため愛情が加わることです。そのため普段より、何倍も美味しく温かみのある料理に仕上がります。また食べた人の率直な意見を聞けることで、料理に対するレベルアップにも繋がっていきます。さらに「美味しかったよ。また作ってね。」と言われると“次も頑張って作ろう！”とやる気になります。

私を虜にする料理・・・それはみんなが美味しそうに食べている姿を見ること、これもまた私が料理にハマり続ける魅力のひとつです。



愛媛県支部
水本綾香
協和環境整備工業(株)

樹木の根巻き / 幹巻き、植樹、治療など
多彩な用途に

麻縄 / 麻布、しゅろ縄を取り揃えております

商品の詳細は
弊社オンラインストアから！
<https://www.usui-nouchikusan.com>

幹巻きテープ
根巻きロール
麻縄
しゅろ縄

「お好みパレット便」ご利用ください！

- ・お得なパレット価格でお届けします
- ・小ロットずつ色々な商品を自由に組み合わせることができます

※組み合わせ例

お問い合わせ
TEL: 0250-62-3926

私たちはまごころ企業であり続けます

うすいのうちくさん
有限会社 臼井農畜産

〒959-1944 新潟県阿賀野市金屋765番地
TEL: 0250-62-3926 FAX: 0250-62-1206

臼井農畜産HP
<https://www.usui-niigata.co.jp/>
✉: usui@usui-suibara.co.jp